

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和4年度分）

施設	名称	栃木市そのべ児童館
	所在地	栃木市藪部町2丁目14番9号
	施設内容	児童厚生施設
指定管理者	名称	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会
	所在地	栃木市今泉町2丁目1番40号
	主な業務内容	地域福祉事業・介護保険事業・障害者自立支援法に基づく事業

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	利用案内掲示数		6か所	6か所			
	利用者アンケート数		100件	100件			
	利用者アンケート意見反映数		2件	2件			
	アンケート数『職員対応』『遊具』『行事』合計「満足」「ほぼ満足の割合」		80%	100%			
	利用者満足率（満足・ほぼ満足）		80%	100%			
	業務改善数		3件	4件			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20
指定管理者コメント	<p>①施設の設置目的に基いた管理運営方針を明文化し、事務室内に掲示しました。管理運営方針は職員会議等で確認し職員の理解を深めました。また、職員に事業計画書を配布した上で周知し、全員が運営方針を理解して業務に携わりました。</p> <p>②利用者への利便性に配慮し、出入口等に関館時間や休館日等の案内を掲示しました。また、低年齢の子どもにも理解できるよう配慮した内容で、掲示板に利用上の約束事などを掲示し、更に貸し出し用のおもちゃについても分かりやすく写真付きで利用方法を掲示するなど、利用者の立場に立った使いやすい施設づくりを心がけ実践してきました。階段や踊り場には、楽しい雰囲気児童館に誘導できるよう、飾り付けを行いました。また、高齢の利用者が少ないという短所を解消するべく、その世代に向けた事業を行うなど、幅広い年齢を対象とした事業を総合的に計画し実施しました。</p> <p>③アンケートの結果から、施設利用者及びイベント参加者からは、「満足」「やや満足」の割合が100%と、ともに高い評価を受けており、児童館運営に対して大変ご満足をいただきました。また、アンケートでいただいたご意見や日頃から利用者とのコミュニケーションを取る上でいただいたご意見について、内容を精査・検討しスピード感を持って改善等の対応をしました。</p> <p>④アンケート以外にも館内に利用者意見箱を設置し、広く利用者の意見を募るとともに、ご意見・苦情をいただいた際には、迅速に対応する姿勢をとりました。また、4件の改善（イベント開催にあたり参加しやすい曜日の変更・ベビービクスと親子ビクスの1本化・学生ルームの設置・卓球使用時間延長）を行いました。</p>						

施設所管課コメント

- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分に理解し、職員の努力により利用者から感染者を出すことなく適正な運営が実施できたものと理解します。
- ・掲示板等を利用することにより、利用者への特に低年齢の子どもの立場に立った施設づくりに取り組まれていることは評価できる。階段や踊り場には飾り付けがされており、楽しい雰囲気を利用できる環境が整っていることから、引き続きそのような取組をお願いしたい。
- ・今年度はこれまでの懸案事項であった、高年齢の子どもの利用者が少ないという短所を解消するため、今年度はその世代を対象とした事業を行うことができたことから、今後についてもこのような取組を継続していただきたい。
- ・利用者アンケート及び意見箱の意見の件数は、新型コロナの影響により利用者が減少しているにもかかわらず、当初の計画どおりの回収できたことは高く評価ができる。コロナ禍においても満足度も高く、要望にも適切に対応していると思われまます。更に、利用者からいただいたご意見等に対して改善に向けた取組を適切に行っており、改善件数も当初の計画より増加していることから、今後も利用者の声を拾い継続し運営に当たっていただきたい。

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み						
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値		
	利用者数		7,300人	5,894人		
	記事の掲載回数		25回	40回		
	児童館だより発行部数		2,450部	2,450部		
	新規事業数（既存事業名だが内容は新規のものを含む）		10回	11回		
	協働事業数		2回	0回		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	①令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により通常の事業展開ができませんでした。また、平成30年度の実績から5年間で利用者300人増と設定して施設の運営を行いました。利用者数は目標を達成することができませんでした。しかしながら、利用者数は伸びませんでしたが、施設・備品等の消毒の徹底、空気清浄機やオゾン発生機の使用、入場制限や換気等による三密の防止など、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した事業等を行うことができ、更に事業計画にはありませんでした新規事業を企画し、皆さんに喜んでいただくことができましたので、環境に合わせた施設運営はできたものと思います。					
	②市内全世帯に配布される広報とちぎ等に行事案内等を掲載し、本会ホームページにも行事案内を掲載するなど、広い周知を心がけました。また、利用制限解除されたかどうか確認の内容等を本会ホームページ等でお知らせし、利用促進を図りました。更に、毎月児童館だよりを発行（年間延べ2,450部）し、窓口や公共施設等で配布を行いました。					
	③新規利用者に向けた事業として、たくさんの行事等を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったり、内容を変更して実施するなど年度計画の変更を余儀なくされました。そのような中で、新規事業を11回行うとともに、既存の事業についても新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮して内容を変更するなどして行いました。					
	④協働事業について、世代間交流を目的に、併設の老人福祉センター長寿園との連携事業を長寿園職員等と検討しましたが、長寿園は老人施設のため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から1年を通して利用の制限や団体等の活動にも制限があったためやむを得ず中止となってしまいました。また、地区コミュニティ推進協議会主催の第六コミュニティまつりへの協力につきましては、前年度に引き続きイベント自体が中止との報告を受け実施することができませんでした。					
施設所管課コメント	・令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなってきたものの、利用制限もあり事業計画どおりの運営ができず、利用者数は目標と大きく差が出てしまっている。しかしながら、前年度の利用者数（4,322人）と比較すると、約36.4%増加しており、コロナ禍においても、児童の体力の増進及び豊かな情操の醸成のために、感染症対策を実施しながら広報、児童館だよりを通じ、新規事業等を周知し利用者確保するための取組を積極的に行った努力が伺える。今後は新型コロナに係る規制が緩和させることから、感染症対策を十分に行いながら利用者の確保及び満足度の向上を図っていただきたい。					
	・世代間交流を目的として長寿園（老人施設）との協働事業を行う予定であったが、新型コロナの影響もあり、今年度は高齢者の健康面を第一に考えた結果、やむを得ず実施できなかったものの、世代間交流は児童の健全育成に有効のため、継続して実施していただきたい。					

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	事務経費削減額（テラス修繕、非常灯交換修繕費用を除く）		7,103円	25,563円			
	事務経費削減率（テラス修繕、非常灯交換修繕費用を除く）		3.00%	10.80%			
	施設修繕数		2回	4回			
	廃棄物の減量（牛乳パック、ペットボトル、新聞紙の使用回数）		10回	15回			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	I	1.0	15	I	1.0	15
指定管理者コメント	<p>①指定管理料の収支手続きを適正に行いました。</p> <p>②職員は常に経費削減を心がけ、節電・空調管理に努めました。トイレ等の簡易な修繕は長寿園職員と協力しながら、職員が実施しました。</p> <p>③備品管理台帳の見直しを定期的に行ないました。また、施設点検報告書を作成し、四半期ごとに結果を市に報告しました。</p> <p>④事業に使用する工作物等の材料に、そのままではゴミとして廃棄する牛乳パック、ペットボトル、新聞紙等を積極的に使用するなどエコ対策に取り組みました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組として、利用者等が触れるものは使い捨てになる傾向が見られました。そのような中で、ぺたぺたひろば（こどもが手形・足形を取る）で使用するエプロンを新聞紙で作成し、資源のリサイクルに努めました。また、長寿園職員からいただいた古新聞や包装紙で作成したエコバックを事業の中に取り入れ、イベント参加後のお土産用バックとして、可愛いデザインのエコバックを受け取った皆さんからは大好評でした。</p>						
施設所管課コメント	<p>・新型コロナウイルス感染症対策として、他人との接触を避けるため、再利用等の仕組みに基づく経費節減が難しくなった中で、事業の中で工夫し資源のリサイクルに取り組んでいることは評価できると思われる。本件については継続して環境への配慮をお願いしたい。</p> <p>・施設の修繕についても、簡易なものについては、職員が実施している点も経費削減に寄与されていると思われる。</p>						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み							
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③	職員の福利厚生は充実しているか					
	④	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	人員配置数		5人		5人		
	報告書期限内提出		100%		100%		
	研修会参加者数		延べ4人		延べ10人		
	館長会議参加回数		4回		6回		
	常勤職員1週間の平均勤務時間数		40時間		38.75時間		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	II	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①総括責任者に、防火管理者及び社会福祉主事等を有する者を配置して施設全体の把握に努め、安全管理を徹底しました。その他の職員は、保育士や幼稚園教諭等の資格を持つ「児童の遊びを指導する者」を配置しました。職員は、総括責任者・嘱託職員が常勤、臨時職員2名が非常勤勤務、臨時職員1名（無資格）常勤となりました。常勤の臨時職員（無資格）については、児童館の運営上支障がないようまた、他職員の過重負担にならない勤務体制に努めました。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会の人数制限や日程変更になるなど参加が困難な状況が続きましたが、防火管理者研修・オンラインによる虐待防止等を受講し、職員の資質の向上に努めました。また、朝礼において、緊急時の対応方法を研修するなど、緊急時における職員体制の強化に努めるとともに、不測の事態に備えました。また、館長会議へも出席し、情報の共有を常に図り、公平公正に接遇するよう職員一同努めました。</p> <p>③福利厚生について、全職員が健康診断を適正に受診しました。</p> <p>④健康保険料、厚生年金保険料、各種税金について滞納はありません。</p>						
施設所管課コメント	<p>・業務の運営に支障はなかったが、業務の充実を図るため、職員の配置の見直しを検討していたものと考えます。新型コロナウイルス感染症が拡大する中、人員確保が難しかったことは理解するが、より充実した運営ができる体制作りを努めていただきたい。</p> <p>・新型コロナの影響で利用者数は減少したものの、研修を受ける機会が増加したことにより、職員の資質向上につながったと思われます。今後は、新型コロナに係る規制が緩和されることにより利用者の増が見込まれることから、研修の成果を今後の運営に活かしていただくとともに、今後も研修等の機会を通じて更なる職員の資質向上に努めていただきたい。</p>						

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	定期安全点検実施回数		12回		12回		
	非常通報装置の保守点検		1回		1回		
	事故発生件数		0件		0件		
	消防訓練等実施回数		2件		2件		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①毎日の館内、月1回の施設全体の点検を行い安全管理を徹底しました。また、来館することもたちにも理解しやすいように、イラスト入りで約束事を掲示しました。</p> <p>②緊急時の対応方法を定めた危機管理マニュアルや消防計画を作成し、職員に周知徹底を図りました。消防設備・防火対象物においては、とちぎ西部生きがいセンターとして年2回の点検を実施し、更に児童館内にある非常通報装置の点検を実施しました。また、施設の管理瑕疵に係る児童安全共済に加入し、不測の事態に備えました。</p> <p>③毎月1日に避難経路・消防設備の確認等を行いました。本施設は複合施設であるため、老人福祉センター長寿園、第六地区コミュニティセンターと合同で消防避難訓練を実施し、職員等が万が一の際の避難経路や避難の手順について確認することができました。なお、消防訓練時、新型コロナウイルス感染症の影響で施設内に利用者等が少なかったのですが、できるだけご参加いただけるようお願いし、水消火訓練にもご協力いただきました。</p> <p>④個人情報は、本会個人情報保護規程に基づいた管理方法で適正に処理しました。</p>						
施設所管課コメント	<p>・施設安全対策及び危機管理については、適正に行われているものと理解します。</p> <p>・突然の地震等の災害に対応のために、緊急時の対応方法を定めた危機管理マニュアルや消防計画の作成、訓練の実施等により万全の体制が整えられている。新型コロナウイルス感染症のような目に見えない危機への対応も必要となることから、情報収集等含め安全対策に万全な対応をお願いしたい。</p> <p>・個人情報の取扱いについては引き続き個人情報保護規定に基づき適正に管理していただきたい。</p>						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	20	20	20
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	16	16	15.8
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	15	14.2
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	20	16	15.8
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	16	16	15.8
評価点合計	100	87	83	81.6
総合評価		A (優)	A (優)	A (優)

第3次評価 (選定委員会評価)	
選定委員会コメント	<p>○平等利用の確保とサービス向上の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート数を増やす取組みをしてもらいたい。 ・利用者満足度が100%なのが素晴らしい。 <p>○施設の効用を最大限に発揮する取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者自立支援法の観点からすると、児童施設というのは「遊びの場」の提供ではなく、「遊び」そのものの提供するものとなっている。そういった点からも、従事している保育士がどのような取組みをしているかなどを指標に落とし込めるようにしてもらいたい。 ・コロナ禍であるにもかかわらず、広報活動に取り組んでいることは評価出来る。 <p>○施設経費の削減の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の再利用をしている点が良い。 <p>○施設の管理を安定して行うための取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修をして職員の意識向上に努めている。 <p>○施設の安全対策、危機管理体制の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合施設となっているので、施設ごとの境目などに監視カメラを設置するなどしてもらいたい。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの施設が複合しているところで、それぞれの所管課の考えの違いがあると思われる。評価指標の立て方に疑問を感じた部分がある。第2次評価を支持するが、今後の検討課題としてもらいたい。

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期
資産総額	1,970,659,890	1,906,373,129	1,983,652,461
売上高	878,123,933	873,947,307	825,285,169
経常利益	△ 75,756,815	△ 43,364,759	△ 82,602,966
当期利益	△ 75,042,296	△ 44,559,175	39,099,727
経常収支比率	95.3%	95.3%	90.9%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期
経常費用	957,211,747	919,267,844	910,352,088
経常収益	881,454,932	875,903,085	827,749,122
経常収支比率	92.1%	95.3%	90.9%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

令和3年度における本会全体の財務状況は、介護保険事業収益や障害福祉サービス等事業収益の減により経常収益が減少しましたが、人件費や事業費を抑えることができたため、前年度より赤字幅を少なくすることができました。繰越金があることから組織全体の運営に支障はありませんが、安定した基盤づくりのため、今後も健全な経営に努めていきます。